

会員事業所景況実態調査平成28年4月～6月分集計結果

調査依頼数:523 回答数139 回答割合:26.6%

今年度より平成24年度以来となる会員事業所景況実態調査を実施することになり、調査結果について下記のとおりに報告いたします。調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。
ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

★DI値とは

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

【質問 A】 前年同時期と比較した4月～6月の景況

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	28	43	68	139	▲28.7	▲21.6
	採算	18	56	64	138	▲33.3	▲30.3
	仕入単価	12	76	49	137	▲27.0	▲39.4
	従業員	30	98	8	136	16.2	0.0
	業況	13	62	63	138	▲36.2	▲28.9
	資金繰り	9	88	40	137	▲22.6	▲22.2
建設・建築業	売上	6	5	10	21	▲19	▲15.4
	採算	5	8	8	21	▲14.3	▲34.6
	仕入単価	1	15	5	21	▲19	▲34.6
	従業員	3	14	4	21	▲4.8	▲7.7
	業況	3	9	9	21	▲28.6	▲30.8
	資金繰り	3	10	8	21	▲23.8	▲26.9
製造業	売上	6	6	15	27	▲33.3	▲10.5
	採算	6	9	12	27	▲22.2	▲26.3
	仕入単価	3	12	11	26	▲30.8	▲44.4
	従業員	5	22		27	18.5	▲15.8
	業況	2	15	10	27	▲29.6	▲26.3
	資金繰り	3	19	5	27	▲7.4	▲10.5
卸・小売業	売上	2	10	23	35	▲60.0	▲34.2
	採算	1	11	23	35	▲62.9	▲26.3
	仕入単価	3	17	15	35	▲34.3	▲36.8
	従業員	5	27	2	34	8.8	▲5.4
	業況	2	10	23	35	▲60.0	▲32.4
	資金繰り	1	19	15	35	▲40.0	▲37.1
飲食・サービス業	売上	8	6	6	20	10.0	▲37.5
	採算	3	11	6	20	▲15.0	▲41.7
	仕入単価	2	8	10	20	▲40.0	▲37.5
	従業員	8	11	1	20	35.0	▲17.4
	業況	1	12	7	20	▲30.0	▲37.5
	資金繰り		14	6	20	▲44.0	▲25.0
その他	売上	6	16	14	36	▲22.2	▲8.3
	採算	3	17	15	35	▲34.3	▲26.3
	仕入単価	3	24	8	35	▲45.7	▲19.4
	従業員	9	24	1	34	8.1	▲13.2
	業況	5	16	14	35	▲25.7	▲19.4
	資金繰り	2	26	6	34	▲11.8	▲13.2

※前回DI値:平成24年同時期と比較した平成25年1月～3月分調査結果

(全体)

前回より仕入単価以外でDI値が悪化している。一方で仕入単価ではDI値が改善し、仕入単価が下
いる。従業員ではDI値がプラスに転じ、建設・建築業以外で人手不足がより著しくなっている。

(建設・建築業)

前回より売上、従業員以外のDI値が改善し、採算、仕入単価はより著しくなっている。従業員では前回より
人手不足感が強まったが、他業種ほどではない。

(製造業)

前回より売上、従業員、業況以外はDI値が改善している。一方で、売上は前回より大幅にDI値が悪化して
おり、また従業員ではDI値がプラスに転じ人手不足が強まっている。

(卸・小売業)

前回より仕入単価以外では、DI値が大幅に悪化していて、マイナスポイントもかなり大きくなって
いる。従業員では、DI値がプラスに転じ人手不足が強まっている。仕入単価ではDI値は改善したが、
依然としてマイナスポイントが大きい。

(飲食・サービス業)

前回より売上、採算ではDI値が大幅に改善し、売上はプラスに転じている。一方で、仕入単価、
業況、資金繰りではDI値のマイナスポイントがかなり大きくなっている。また、従業員ではDI値が
プラスに転じ人手不足が強まっている。

(その他)

前回より資金繰り以外ではDI値が悪化しており、特に仕入単価が大幅に悪化し、マイナスポイント
も大きくなっている。また、従業員ではDI値がプラスに転じ人手不足が強まっている。

【質問 B】 平成28年度設備投資について

①実施状況

	実施・実施予定	実施しない	合計
全体	47	89	136
建設・建築業	5	16	21
製造業	14	13	27
卸小売業	8	27	35
飲食・サービス業	7	13	20
その他	13	20	33

※①で実施・実施予定と回答した事業所のみ、②、③についても回答

②目的(複数回答あり)

	能力増強	品質向上	新分野進出	省力化・合理化	設備代替	その他
全体	15	7	1	17	22	2
建設・建築業	2				3	
製造業	6	4		6	7	1
卸小売業	1	2		5	4	1
飲食・サービス業	4		1	3	3	
その他	2	1		3	9	

③内容(複数回答あり)

	生産設備・機械	工場・店舗	OA機器	車両運搬具
全体	27	10	10	11
建設・建築業	4		1	1
製造業	13		1	1
卸小売業	4	5	2	1
飲食・サービス業	3	4	1	3
その他	3	1	5	5

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点(複数回答可能)

<全業種合計>

1位	売上不振
2位	利益が上がらない
3位	消費・需要の停滞
4位	仕入価格の上昇
5位	販売単価、受注単価の低下
6位	従業員の技術力不足
7位	従業員不足
8位	後継者不足
9位	消費者ニーズの変化への対応
10位	事業資金の借入難
11位	大型店等の進出等による競争激化
12位	在庫過剰
13位	その他

※その他の意見

協力工場の不足(製造業)、売掛金回収の困難(卸・小売業)
工業地域以外での法規制の厳しさ(卸・小売業)

<建設・建築業>

1位	売上不振、利益が上がらない
2位	消費・需要停滞、販売単価・受注単価低下、従業員の技術力不足
3位	後継者不足

<製造業>

1位	売上不振
2位	消費・需要停滞、仕入単価上昇
3位	販売単価・受注単価低下、後継者不足

<卸・小売業>

1位	売上不振
2位	利益が上がらない
3位	消費・需要の停滞

<飲食・サービス業>

1位	仕入価格上昇
2位	利益が上がらない
3位	売上不振、従業員不足

<その他業種>

1位	売上不振
2位	消費・需要の停滞、従業員の技術力不足、利益が上がらない
3位	従業員不足

【質問 D】 行政、当所などに対するご意見・ご要望

- ・工事発注の平準化(特に第一四半期)を早急に検討してほしい。雇用にも多大な影響がある。(建設・建築業)
- ・設備投資資金に対する補助金・助成金の拡大(製造業)
- ・新潟市との合併による事業所税の負担が大きく、これに対する対策を検討してほしい。(製造業)
- ・企業同士のマッチングの機会を設けてほしい。(製造業)
- ・労働力不足の解消、テクノスクールのさらなる有効活用。(製造業)
- ・行政の予算削減が多く、今期の売上目途が立たない状況です。予算確保をお願いしたい。(卸・小売業)
- ・地元の中小零細企業や商店の知名度アップの為、定期的に紹介チラシ等の作成によりPRが必要だ。(卸・小売業)
- ・全業種で定年の引上げ、売上・採算が向上しないのに最低賃金引上げで現場にしわ寄せがきている。(飲食サービス業)
- ・適正な業界の監督、法令遵守の強化。(その他業種)